



バックアップとリカバリのワークフロー Snap Creator Framework

NetApp
January 20, 2026

目次

バックアップとリカバリのワークフロー	1
プロファイルの作成	2
グローバル構成ファイルを作成しています	2
構成ファイルを作成しています	3
バックアップを作成しています	6
ジョブの監視	9
ログの監視	9
スケジュール済みジョブを作成しています	10
保持ポリシーを作成します	12
Snap Creator のポリシーを定義するガイドライン	12
バックアップタイプを作成しています	13
ポリシースケジュールを作成します	13
ポリシーを作成する	13
ポリシーを割り当てます	15
クローンを作成します	15
新しいバックアップからクローンを作成する	16
既存のバックアップからクローンを作成する	16
リストア処理を実行しています	17
ボリュームリストアを実行しています	17
単一ファイルのリストア処理を実行しています	18
アプリケーションで定義したリストア処理を実行しています	19

バックアップとリカバリのワークフロー

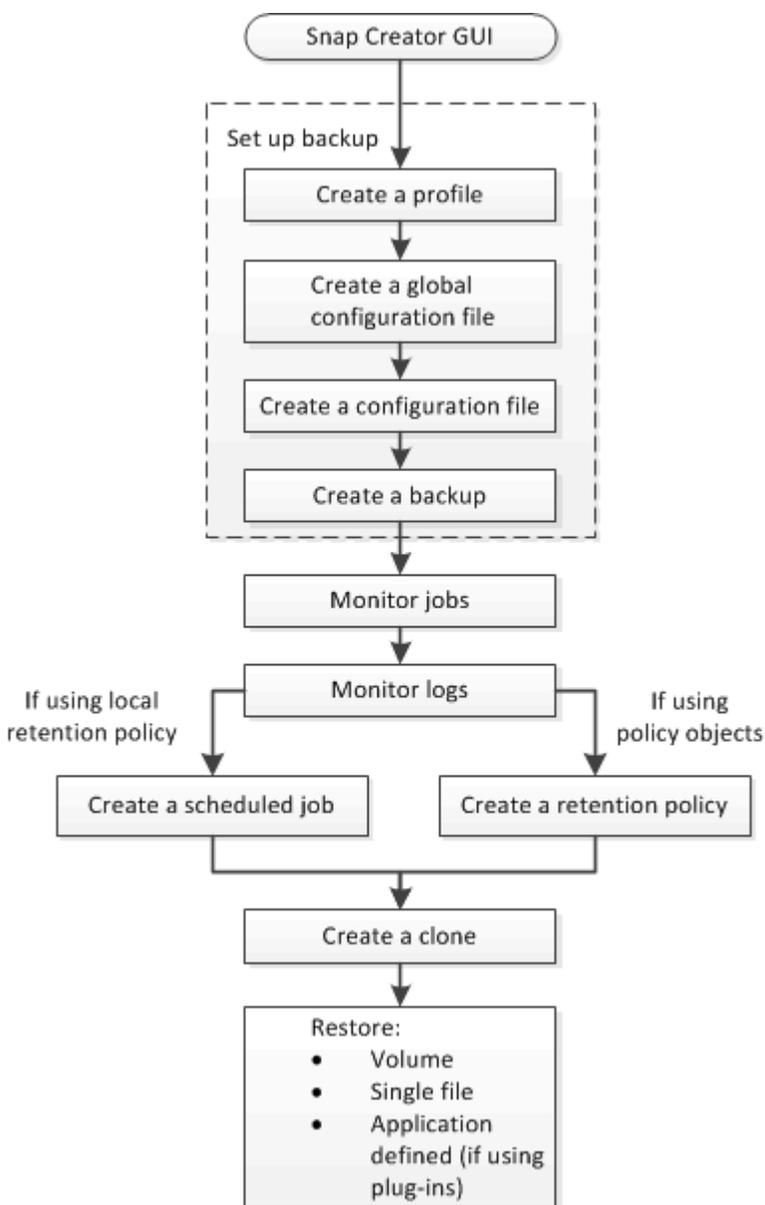
Snap Creator の GUI を使用して、バックアップおよびリカバリのプロセスをガイドラインとしてワークフローを使用できます。

これらのタスクを実行するには、Snap Creator が実行され、Snap Creator の GUI が開いている必要があります。サポートされていない場合は、Web ブラウザに Snap Creator サーバの URL を入力します（"https://IP_address:gui_port" デフォルトのポートは 8443）です。次に、Snap Creator の GUI クレデンシャルを使用してログインします。

次の図は、プラグインを使用してシステムのバックアップとリカバリを実行する場合の全タスクを示しています。



ワークフローに記載されているタスクは、コマンドラインインターフェイス（CLI）からも実行できます。CLI の詳細については、CLI コマンドラインの関連資料を参照してください。



- 関連情報 *

[Snap Creator コマンドラインインターフェースの使用に関するガイドライン](#)

プロファイルの作成

Snap Creator の GUI を使用して、構成ファイルを整理するためのプロファイルを作成できます。

Snap Creator の GUI を初めて開いたときに、新しいプロファイルを作成するように求める New Profile ダイアログボックスが自動的に表示されます。

1. Snap Creator の GUI メインメニューから、 * Management * > * Configurations * を選択します。
2. [* プロファイルと構成 * (* Profiles and Configurations *)] ペインで、 [プロファイルの追加 * (* Add Profile *)] をクリック

[新規プロファイル (New Profile)] ダイアログボックスが表示されます。

3. 新しいプロファイルの名前を入力し、 * OK * をクリックします。

新しいプロファイルが [プロファイルおよび構成 s] ペインに表示され、構成ウィザードが右側のペインに表示されます。

グローバル構成ファイルを作成しています

グローバル構成ファイルを作成して、ストレージコントローラ、Storage Virtual Machine (SVM)、または VMware クレデンシャルの設定をバックアップポリシーと分離できます。

グローバル構成ファイルを使用すると、アクセスを制御し、バックアップおよびリストア処理を実行できます。

次の 2 種類のグローバル構成ファイルを作成できます。

- * スーパーグローバル *

この設定では、すべてのプロファイルのすべての設定が環境されます。

- * プロファイルグローバル *

この構成では、プロファイル内に作成されたすべての構成が環境されます。

- a. Snap Creator の GUI のメインメニューで、 * Management * > * Global Configurations * を選択します。
- b. グローバル構成ペインで、 * グローバル作成 * をクリックします。

右側のペインにグローバル構成の設定ウィザードが開きます。

- c. 設定ウィザードに入力して構成ファイルを作成します。

- i. **[Configuration]** ページで、グローバルコンフィギュレーションタイプ（[Super Global] または [Profile Global]）を選択します。

構成ファイルの名前は、デフォルトでグローバルに設定されています。この名前は変更できません。

グローバル構成タイプとして Profile Global を選択した場合は、プロファイルを選択します。



デフォルトでは、構成ファイルにパスワードがクリアテキストで表示されないように、パスワード暗号化が有効になっています。

- i. **[プラグインの種類]** ページで、プラグインの種類を選択します。

ウィザードで表示されるページは、選択したオプションによって異なります。

プラグインタイプオプション	次のページ	次のページ
仮想化プラグイン	<ul style="list-style-type: none">• 仮想化プラグイン * 設定するプラグインを選択します。	<ul style="list-style-type: none">• 認証情報 * 選択したプラグイン・オプションの認証情報を入力します。
なし	<ul style="list-style-type: none">• ストレージ接続設定 *	

+ プラグインクレデンシャルの詳細については、プラグインのドキュメントを参照してください。

- i. Storage Connection Settings ページで、転送タイプ（HTTP または HTTPS）を選択します。

選択した転送タイプの標準ポートが表示されます。ストレージシステムで非標準ポートが使用されている場合は、ポートのフィールドにポート情報を入力します。

- ii. コントローラ / SVM のクレデンシャルページで、この構成ファイルにボリュームが含まれている各ストレージコントローラまたは SVM の IP アドレスとログインクレデンシャルを入力します。



構成には、少なくとも 1 台のストレージコントローラまたは SVM を追加する必要があります。vsim トネリング機能を使用するには、[IP Tunneling *] チェックボックスをオンにします（クラスタのみ）。

- iii. コントローラのクレデンシャルページで、コントローラが正しい情報を表示していることを確認します。

変更が必要な場合は、コントローラを選択し、* Edit * をクリックします。

- iv. DFM / OnCommand の設定ページで、Snap Creator 構成と NetApp OnCommand 管理ツールを統合する場合は、を選択して詳細を指定します。

- v. 概要を確認し、[完了] をクリックします。

構成ファイルを作成しています

設定ウィザードを使用して構成ファイルを作成できます。

1. Snap Creator の GUI のメインメニューで、 * Management * > * Configurations * を選択します。
2. [プロファイルと構成] ペインで、新しい構成ファイルを配置するプロファイルを右クリックし、 [新しい構成 *] を選択します。

右側のペインに設定ウィザードが開きます。

+ .. Configuration ページで、構成ファイルの名前を入力します。

+



デフォルトでは、構成ファイルにパスワードがクリアテキストで表示されないように、パスワード暗号化が有効になっています。

- a. [プラグインの種類] ページで、プラグインの種類を選択します。

設定ウィザードで表示されるページは、選択したオプションによって異なります。

プラグインタイプオプション	次のページ	次のページ
アプリケーションプラグイン	<ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションプラグイン * 設定するプラグインを選択します。 	<ul style="list-style-type: none"> • プラグインパラメータ * は、選択したプラグイン・オプションに関連する設定の詳細を提供します。
仮想化プラグイン	<ul style="list-style-type: none"> • 仮想化プラグイン * 設定するプラグインを選択します。 	<ul style="list-style-type: none"> • プラグインパラメータ * は、選択したプラグイン・オプションに関連する設定の詳細を提供します。
コミュニティプラグイン	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニティプラグイン * 設定するプラグインを選択します。 	<ul style="list-style-type: none"> • プラグインパラメータ * は、選択したプラグイン・オプションに関連する設定の詳細を提供します。
なし（プラグインを使用していない場合）	<ul style="list-style-type: none"> • エージェント設定 * 	

プラグインパラメータおよび設定の詳細については、プラグインのドキュメントを参照してください。

- b. Agent Configuration ページで、 Snap Creator エージェントの設定情報を入力します。
- c. Storage Connection Settings ページで、転送タイプ（ HTTP または HTTPS ）を選択します。

選択した転送タイプの標準ポートが表示されます。ストレージシステムで非標準ポートが使用されている場合は、ポートのフィールドにポート情報を入力します。

- d. コントローラ / SVM のクレデンシャルページで、この構成ファイルにボリュームが含まれている各ストレージコントローラの IP アドレスとログインクレデンシャルを入力します。



構成には、少なくとも 1 台のストレージコントローラまたは SVM を追加する必要があります。

- e. Controller/Vserver Volumes (コントローラ/Vserver ボリューム) ペインで、含める各ボリュームを選択し、右ペインにドラッグするか右矢印をクリックしてボリュームを右ペインに移動し、* Save (保存) * をクリックします。



SnapMirror または SnapVault デスティネーションに Snapshot コピーをレプリケートする場合は、この手順で入力する SVM の名前が SnapMirror 関係または SnapVault 関係を作成したときに使用した SVM の名前とまったく同じである必要があります。関係の作成時に完全修飾ドメイン名を指定した場合は、この手順で、指定した情報を使用して Snap Creator が SVM を検出できるかどうかに関係なく、完全修飾ドメイン名を指定する必要があります。名前 (大文字または小文字) に使用するケースは重要です。

プライマリストレージシステム上の SVM の名前を確認するには、`snapmirror show` コマンドを使用します。

```
snapmirror show -destination-path destination_SVM:destination_volume
```

`destination_svm_name` はデスティネーションシステム上の SVM の名前、`destination_volume` はボリュームです。

- f. コントローラのクレデンシャルページで、コントローラが正しい情報を表示していることを確認します。
変更が必要な場合は、コントローラを選択し、* Edit * をクリックします。
- g. Snapshot の詳細ページで、Snapshot コピーの詳細を指定します。

フィールド	説明
Snapshot コピー名	Snapshot コピー名を指定できます。通常、Snapshot コピーには構成ファイルと同じ名前を付けますが、Snapshot コピー名にはバックアップ中のデータが含まれる場合があります。 + 注：Snapshot コピー名には特殊文字は使用しないでください。
Snapshot コピーラベル	Snapshot コピーラベルを指定できます。このオプションは、clustered Data ONTAP 8.2 以降で有効です。clustered Data ONTAP 8.2 より前の Data ONTAP リリースでは、このフィールドに機能は表示されません。

フィールド	説明
ポリシータイプ	<p>ポリシータイプを選択できます。次の 2 つのオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Policy：このオプションは、Snapshot コピーポリシー領域に表示される組み込みのポリシーの 1 つを有効にして、保持期間（保持するバックアップの数）を指定します。 • ポリシーオブジェクトを使用：ポリシーオブジェクトがすでに作成されている場合は、このオプションを選択する必要があります。
Snapshot コピーポリシー	有効にするポリシーを選択できます
Snapshot コピーの削除を防止	Snapshot コピーの削除を禁止するかどうかを指定できます
ポリシー保持期間	ポリシーの保持期間を指定できます
命名規則	<p>バックアップの命名規則（Recent または Timestamp）を指定できます。SAP HANA、Vibe、Domino などのプラグインでは、「Recent」はサポートされていません。</p> <p>[+]</p>

- h. スナップショットの詳細（続き）ページで、ご使用の環境に適用可能なその他の設定を行います。
- i. データ保護ページで、SnapMirror 処理または SnapVault 処理との統合が必要かどうかを選択します。

SnapMirror または SnapVault テクノロジーを選択した場合は、追加情報が必要です。SnapMirror および SnapVault テクノロジーの場合は、IP アドレスではなく、ストレージシステム名を指定する必要があります。

- j. DFM / OnCommand の設定ページで、Snap Creator 構成と NetApp OnCommand 管理ツールを統合する場合は、を選択して詳細を指定します。
- k. 概要を確認し、[完了]をクリックします。

バックアップを作成しています

Snap Creator の GUI を使用してバックアップを作成できます。

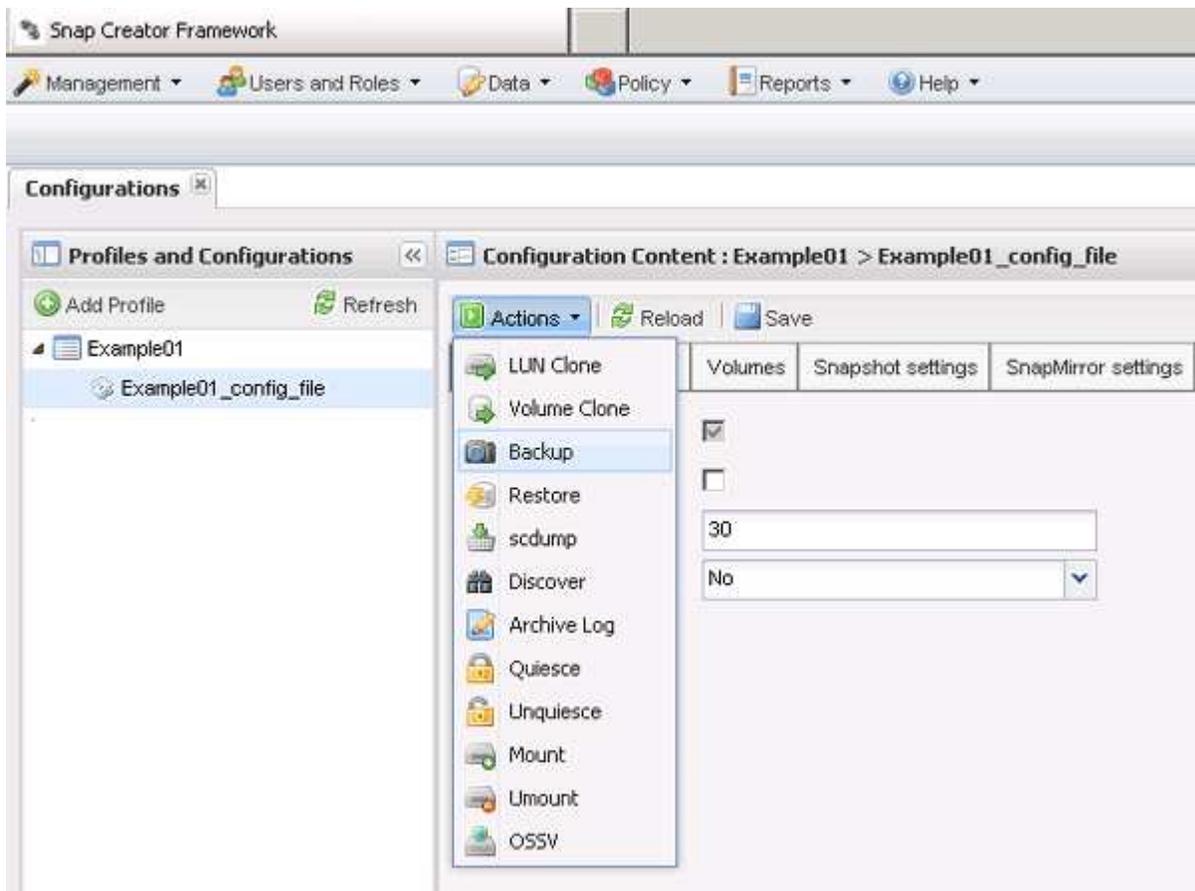
次のいずれかの条件を満たす必要があります。

- バックアップポリシーは構成ファイルに定義する必要があります。または、
- ポリシーオブジェクトが設定され、プロファイルに割り当てられている必要があります。



ポリシーオブジェクトが定義されている場合、そのポリシーオブジェクトは構成ファイル内のエントリを上書きします。

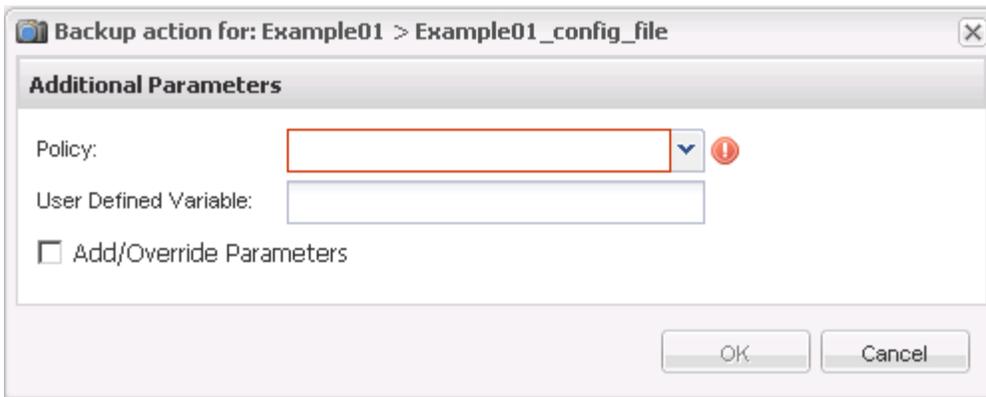
- Snap Creator の GUI メインメニューから、* Management * > * Configurations * を選択します。
- [* 構成] タブの [プロファイルと構成 *] ペインで、構成ファイルを選択します。
- [* アクション * > * バックアップ *] を選択します。



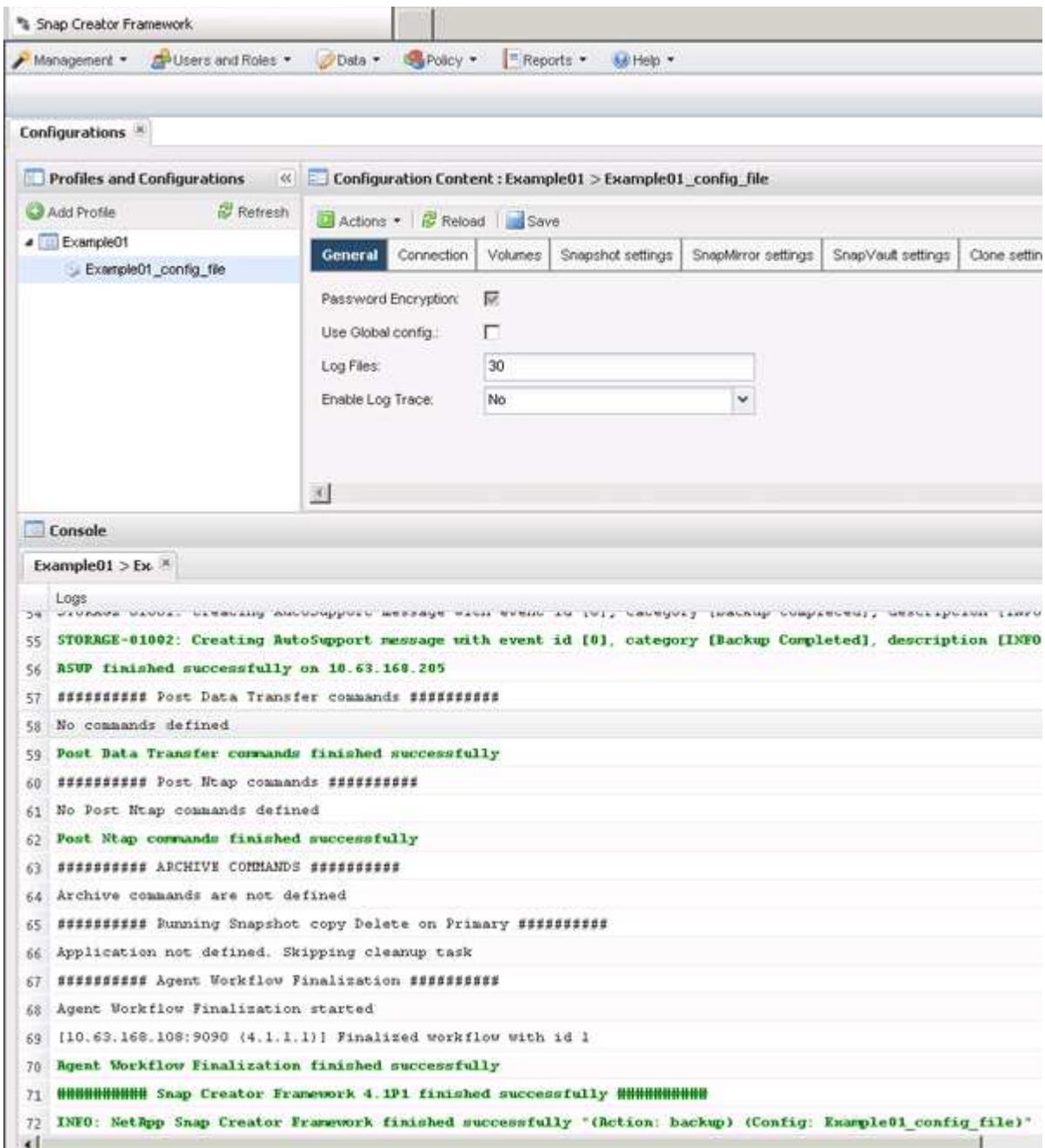
- [追加パラメータ] ダイアログボックスで、ポリシーを選択し、[OK] をクリックしてバックアップを開始します。



ユーザが作成したポリシーが設定に割り当てられていない場合、「* Policy *」ドロップダウンリストで選択できる項目は「hourly」、「daily」、「weekly」、および「monthly」です。ユーザが作成した1つ以上のポリシーが設定に割り当てられている場合は、代わりに「* Policy *」ドロップダウンリストに表示されます。



e. バックアップ・ジョブに関する情報が * Console * ペインに表示されていることを確認します。



この例の出力は、Snap Creator の処理が正常に完了したことを示しています。



[*Console] ペインには、最も関連性の高い情報のみが表示されます。これは詳細モードです。実行したジョブの詳細情報を表示するには、ページの上にある * Reports * > * Logs * を選択します。ログビューから、プロファイル、構成ファイル、ログタイプ、および特定のログを選択できます。

ジョブの監視

Snap Creator の GUI を使用して、Snap Creator によって実行されているジョブのステータスを監視できます。

1. Snap Creator の GUI メインメニューから、* Management * > * Job Monitor * を選択します。

実行中のジョブのリストが表示されます。

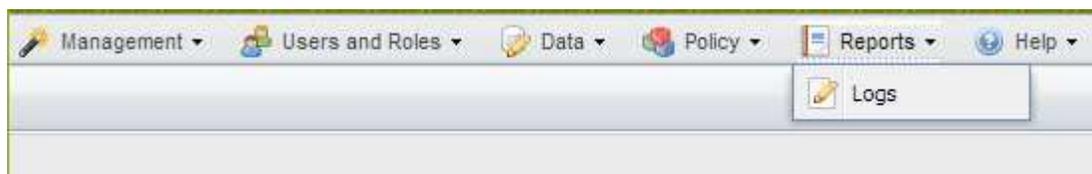
2. 実行中のジョブを停止するには、ジョブを選択し、* キャンセル * をクリックします。

ログの監視

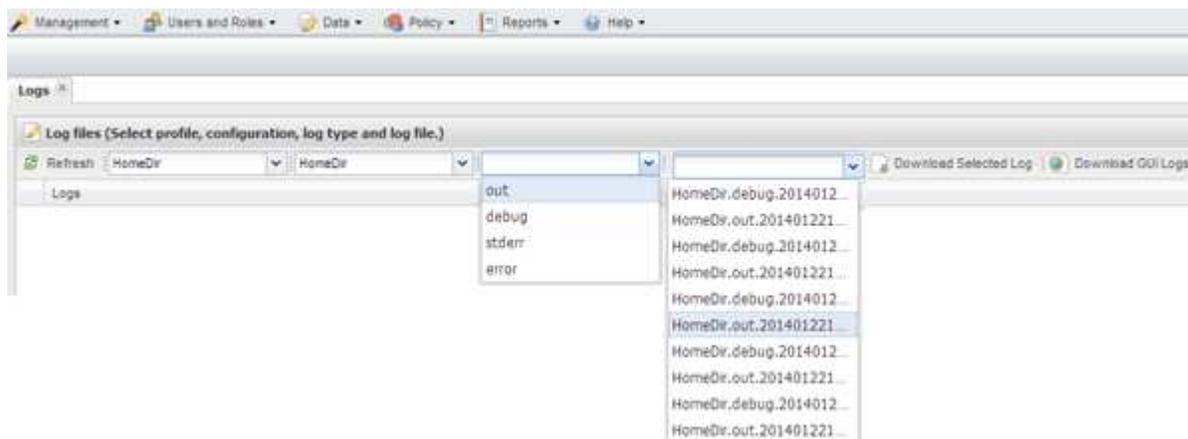
Snap Creator の GUI を使用して、すべてのプロファイルおよび構成のログを表示できます。

アウトログ、デバッグログ、エラーログ、stderr ログを表示すると、トラブルシューティング処理に役立ちます。これらのトラブルシューティングログの詳細については、関連資料を参照してください。

1. Snap Creator の GUI メインメニューから * Reports * > * Logs * を選択します。



2. 必要に応じて、プロファイル、構成ファイル、ログタイプ、または特定のログに基づいてログを選択します。



選択したログは、[選択したログをダウンロード] をクリックしてダウンロードすることもできます。ダウンロードされたログファイルは、ダウンロード用にブラウザで指定されたディレクトリ（またはフォルダ）に格納されます。



アウトログ、デバッグログ、stderr ログ、エージェントログは、構成ファイルに定義された LOG_NUM の値に基づいて保持されますが、エラーログは常に記録されます。

◦ 関連情報 *

[エラー・メッセージの種類およびトラブルシューティング・ログ](#)です

スケジュール済みジョブを作成しています

（構成ファイル内にある）ローカル保持ポリシーを使用している場合は、Snap Creator のグラフィカルユーザインターフェイス（GUI）スケジューラを使用してスケジュールを作成し、タスクを実行できます。Snap Creator サーバに含まれるスケジューラは、バックアップ（Snapshot コピー）、LUN クローン、ボリュームクローン、アプリケーションで定義されたクローン、Open Systems SnapVault（OSSV）転送、アーカイブジョブ、カスタムアクションをスケジュールできます。

ローカルの保持ポリシーではなくポリシーオブジェクトを使用する場合は、この手順をスキップし、代わりにポリシースケジュールを作成してください。

1. Snap Creator の GUI のメインメニューで、* Management * > * Schedules * を選択し、* Create * をクリックします。
2. [ジョブの新規作成] ウィンドウで、ジョブの詳細を入力します。

The image shows a 'New Job' dialog box with the following fields and controls:

- Job Name: [Text input field]
- Start Date: [Calendar icon]
- Active:
- Profile: [Dropdown menu]
- Configuration: [Dropdown menu]
- Action: [Dropdown menu]
- Policy: [Dropdown menu]
- Frequency: [Dropdown menu]
- Save: [Button]

フィールド	説明
ジョブ名	スケジュール済みジョブの名前を指定します。
開始日	今日の日付または将来の日付を選択します。
アクティブ	ジョブがスケジュールどおりに実行されることを示すには、[アクティブ]に設定します。デフォルト設定は Active です。
プロファイル (Profile)	このジョブに関連付けるプロファイルを選択します。
設定	このジョブに関連付ける構成を選択します。
アクション	<p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • * バックアップ * : ネットアップのストレージテクノロジーを使用してバックアップを作成します。 • * CloneLun * : lun clone コマンドを使用して、バックアップを作成し、1つ以上の LUN をクローニングします。 • * cloneVol * : バックアップを作成し、ボリュームをクローニングします。 • * Clone * : プラグインベースのクローン処理を実行します。 • * OSSV * : Open Systems SnapVault を使用してバックアップを実行します。 <p>プライマリバックアップは作成されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • * Arch* : アーカイブログ管理のみを実行します。 <p>バックアップは作成されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • * カスタム * : プラグインで定義されたクローニング処理を実行します。
ポリシー	このジョブに関連付けるポリシーを選択します。
頻度	<p>このジョブの頻度を選択します。選択内容に応じて、スケジュールされたジョブを実行するための適切な時間フィールドを選択する必要があります。</p> <p>[+]</p>

3. [保存 (Save)] をクリックします。

- 関連情報 *

[ポリシースケジュールを作成します](#)

保持ポリシーを作成します

(構成ファイルに含まれる) ローカル保持ポリシーの代わりにポリシーオブジェクトを使用する場合は、保持ポリシーを作成できます。

保持ポリシーを作成する際に、バックアップタイプとポリシースケジュールを作成することができます。

Snap Creator のポリシーを定義するガイドライン

Snap Creator のポリシーは、ユーザ定義の Snapshot コピーを保持することです。このポリシーは、プライマリストレージ上の Snapshot コピー、およびセカンダリストレージ上の SnapVault コピーと SnapMirror コピーに適用されます。ポリシーを使用して、保持する Snapshot コピーの数および Snapshot コピーの保持期間を定義できます。

少なくとも 1 つのポリシーを * Snapshot Retention Count * フィールドに定義する必要があります。SnapVault の場合は、同じポリシーを異なる SnapVault 保持期間に関連付けることができます。たとえば、日単位の Snapshot コピーを作成してプライマリストレージに 7 日間保持し、セカンダリストレージに 1 カ月間保持するには、次のポリシーオプションと設定を使用する必要があります。

- * Snapshot 保持数 * : 毎日 : 7
- * SnapVault 保持数 * : 毎日 : 28

Snapshot コピー削除後の最小日数を指定することもできます。上記の例に基づいて、次のオプションおよび設定を使用する必要があります。

- * Snapshot の保持期間 * : 7.
- * SnapVault 保持期間 * : 28

構成ファイルで次のパラメータを設定して、経過時間に応じて Snapshot コピーの削除を指定することもできます。

```
NTAP_SNAPSHOT_DELETE_by_age _ ONLY = primary | secondary | both
```



このパラメータは、Snap Creator の GUI から使用できません。Snapshot コピーのセットアップに使用する構成ファイルのパラメータの詳細については、関連資料を参照してください。

Snap Creator では、一度に 1 つのポリシーのみを実行できます。最大期間は、環境がすべてのポリシーに適用するグローバルパラメータです。さらに、ポリシーを毎週設定するには、まず定義します。次に、Snap Creator で cron またはタスクマネージャを使用し、Snap Creator で週に 1 回呼び出します。このとき、Snap Creator の変数 %snap_type を weekly に設定します。

- 関連情報 *

Snapshot コピーのセットアップ用パラメータ

バックアップタイプを作成しています

必要に応じて、Snap Creator の GUI を使用してバックアップタイプを作成し、ポリシーの目的を特定することもできます。

1. Snap Creator の GUI メインメニューで、* Policy * > * Backup Type * を選択します。
2. [バックアップタイプ*] タブで、[* 追加] をクリックします。
3. 新しいバックアップ・タイプ名を入力し、* OK * をクリックします。

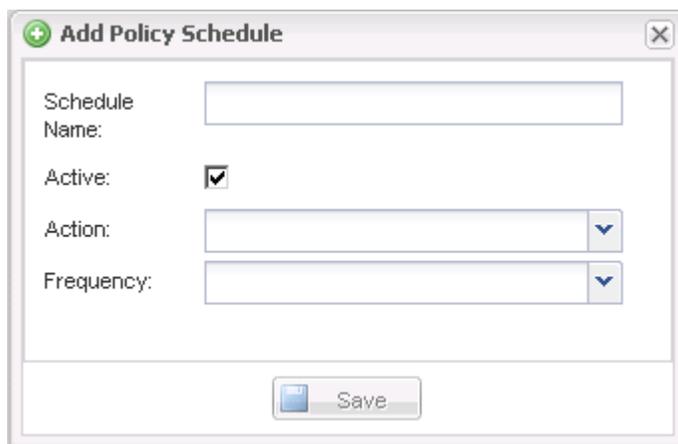
新しいバックアップタイプは、「* バックアップタイプ *」の下に表示されます。

ポリシースケジュールを作成します

必要に応じて、Snap Creator の GUI を使用してポリシースケジュールを作成することもできます。

1. Snap Creator の GUI のメインメニューで、* Policy * > * Policy Schedules * を選択します。
2. [ポリシースケジュール*] タブで、[*Create] をクリックします。
3. スケジュール名を入力してアクションと頻度を選択し、* 保存 * をクリックします。

選択した頻度に応じて、スケジュールされたジョブを実行するための適切な時間フィールドを選択する必要があります。



ポリシーを作成する

Snap Creator の GUI を使用して新しい保持ポリシーを作成すると、保持数が異なる複数の Snapshot ポリシーを設定できます。

Snap Creator ポリシーを定義する際のガイドラインを理解しておく必要があります。

1. Snap Creator の GUI のメインメニューで、* Policy * > * Policy Management * を選択します。

2. [* Policy Manager*] タブで、 [* 作成] をクリックします。

3. 詳細を入力し、 * 保存 * をクリックします。

The screenshot shows a 'New Policy' dialog box with the following fields and controls:

- Policy Name: [Text Input]
- Backup Type: [Dropdown]
- Policy Type: [Dropdown]
- Policy Schedule: [Dropdown]
- Snapshot Retention Count: [Text Input]
- Snapshot Retention Age: [Text Input]
- SnapVault Retention Count: [Text Input]
- SnapVault Retention Age: [Text Input]
- Add/Override Parameters
- Save button

フィールド	説明
ポリシー名	ポリシーの名前を指定します。
バックアップタイプ	(オプション) バックアップタイプを選択します。
ポリシータイプ	ポリシータイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none">• * ローカル * <p>プライマリストレージ上で Snapshot コピーを作成します。SnapMirror 関係または SnapVault 関係がない場合は、このタイプを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• SnapVault <p>プライマリストレージに Snapshot コピーを作成し、SnapVault 更新を実行します。構成内のすべてのボリュームで SnapVault 更新を有効にする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none">• SnapMirror <p>プライマリストレージに Snapshot コピーを作成し、SnapMirror 更新を実行します。構成内のすべてのボリュームで SnapMirror 更新を有効にする必要があります。</p>

フィールド	説明
ポリシースケジュール	(オプション) 使用するポリシースケジュールを選択します。ポリシースケジュールを指定しない場合、これらの処理は自動的に実行されません。
Snapshot の保持数	バックアップの保持数を入力します。
Snapshot の保持期間	バックアップを削除するために保持しておく必要のある最小期間を入力します。
SnapVault 保持数	ポリシータイプとして SnapVault を選択した場合は、SnapVault の保持数を入力します。
SnapVault の保持期間	ポリシータイプとして SnapVault を選択した場合は、SnapVault の保持期間を入力します。
パラメータの追加 / 上書き	ポリシーでは特定のパラメータを上書きできます。必要に応じて、このチェックボックスをオンにして、オーバーライドするパラメータを追加します。

ポリシーを割り当てます

Snap Creator の GUI を使用して、構成ファイルに保持ポリシーを割り当てることができます。

1. Snap Creator の GUI のメインメニューで、* Policy * > * Policy Assignments * を選択します。
2. プロファイルペインからプロファイルを選択します。
3. 右側のペインで適切なチェックボックスをオンにして、プロファイルに割り当てるポリシーを選択し、 [* 保存 *] をクリックします。

構成ファイルがすでにプロファイルに存在する場合は、割り当てられたポリシーが構成ファイルの設定を上書きすることを通知するメッセージが表示されます。

4. [はい] をクリックして、ポリシーを割り当てます。

クローンを作成します

ボリュームまたは LUN をクローニングする方法は、新しいバックアップからも既存のバックアップからも 2 つあります。

- 新しいバックアップからクローンを作成するには、まず Snapshot を作成し、その Snapshot コピーをクローニングして、そのクローンをマウントします。
- 既存のバックアップからクローンを作成するには、既存の Snapshot コピーをクローニングして、そのクローンをマウントします。

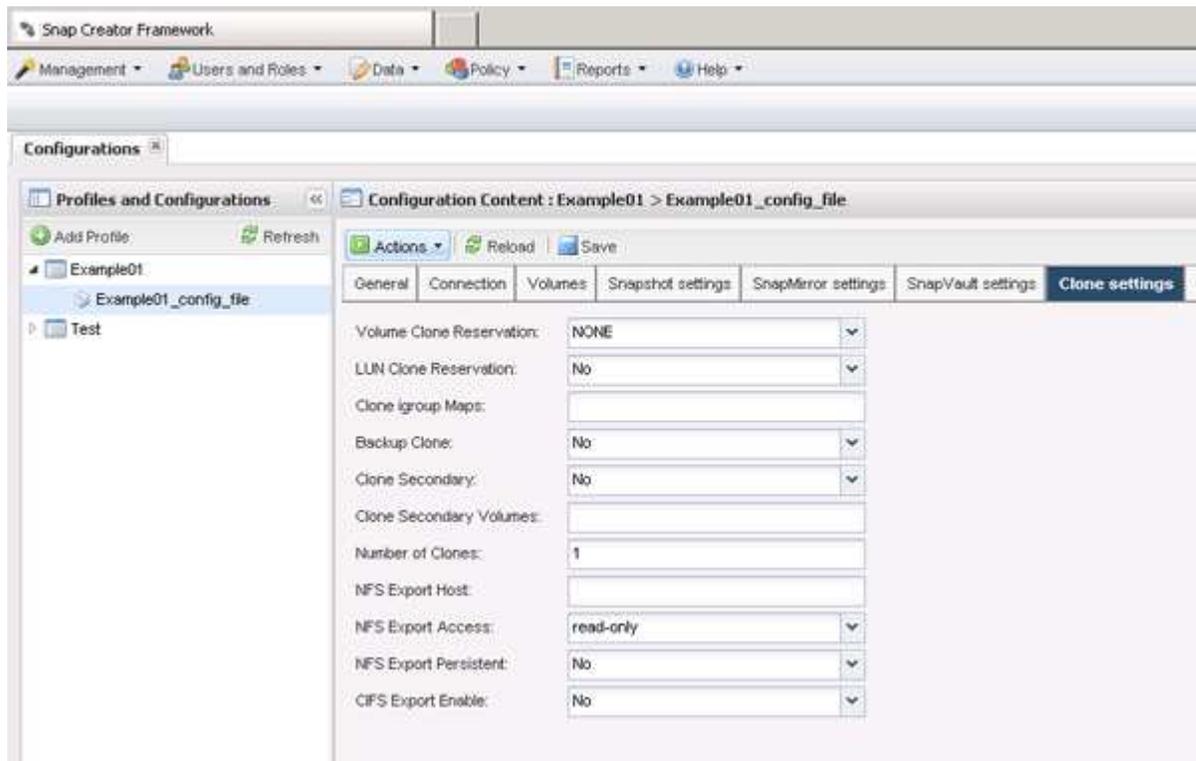
新しいバックアップからクローンを作成する

新しい Snapshot コピーからボリュームまたは LUN をクローニングできます。

- Snap Creator サーバがストレージシステムと通信する必要があります。
- クローニング処理を実行するには、適切な権限で Snap Creator にログインする必要があります。

このクローニング処理では、新しい Snapshot コピーをクローニングします。

1. Snap Creator のグラフィカルユーザインターフェイス（GUI）のメインメニューから、* Management * > * Configurations * を選択します。
2. [* プロファイルと構成 *（* Profiles and Configuration *）] ペインで、構成ファイルを選択します。
3. [* Clone settings *（クローン設定*）] タブに移動し、設定が正しく設定されていることを確認します。



4. 必要なクローンのタイプに応じて、* Actions * を選択し、次のいずれかのオプションを選択します。
 - LUN クローン
 - ボリュームクローン
5. 追加パラメータ（Additional Parameters）ダイアログボックスで適切なポリシーを選択し、* OK * をクリックしてクローニングプロセスを開始します。
6. [* Console *（コンソール*）] ペインで、クローニングプロセスが正常に完了したことを確認します。

既存のバックアップからクローンを作成する

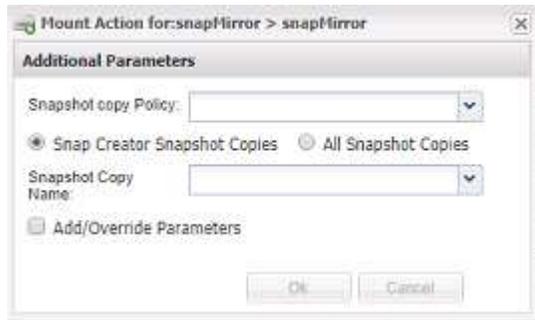
既存のバックアップからボリュームまたは LUN をソースとしてクローニングできます。

- Snap Creator サーバがストレージシステムと通信する必要があります。

- クローニング処理を実行するには、適切な権限で Snap Creator にログインする必要があります。

このクローニング処理では、既存の Snapshot コピーをマウントし、既存のバックアップをクローニングします。

1. Snap Creator の GUI メインメニューから、 * Management * > * Configurations * を選択します。
2. [* 構成] タブの [プロファイルと構成 *] ペインで、構成ファイルを選択します。
3. * アクション * > * マウント * を選択します。
4. 追加パラメータダイアログボックスで、マウントするバックアップを含むコントローラ、ボリューム、およびポリシーを選択し、マウント（クローニング）する Snapshot コピーを選択してから、 * OK * をクリックしてクローニングプロセスを開始します。



選択した Snapshot コピー名を記録します。バックアップをアンマウントするときは、同じ Snapshot コピー名を選択する必要があります。

5. [* Console * (コンソール *)] ペインで、クローニングプロセスが正常に完了したことを確認します。

リストア処理を実行しています

Snap Creator の GUI を使用して、ボリュームリストア、単一ファイルのリストア、アプリケーションで定義したリストアの各処理を実行できます。

SnapDrive for Windows を使用する場合は、SnapDrive を使用してリストア処理を実行する必要があります。この処理は Snap Creator の外部で実行する必要があります。

ボリュームリストアを実行しています

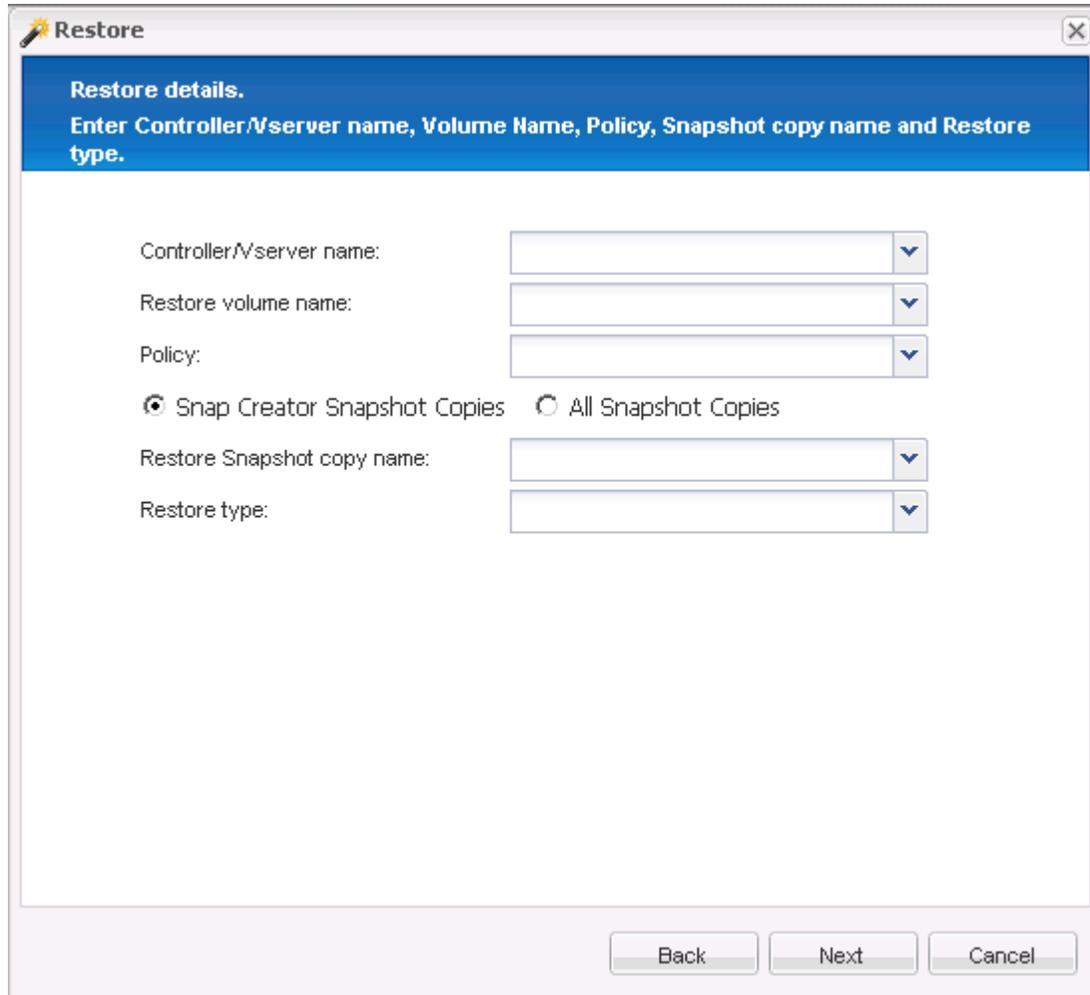
Snap Creator の GUI を使用してボリュームリストアを実行できます。

1. Snap Creator の GUI メインメニューから、 * Management * > * Configurations * を選択します。
2. [* 構成] タブの [プロファイルと構成 *] ペインで、構成ファイルを選択します。
3. [* アクション * > * 復元 * (Action * > * Restore *)] を選択

リストアウィザードが右側のペインに表示されます。

4. リストアウィザードの各ページを設定し、リストアを実行します。
 - a. リストアの詳細 * ページで、コントローラ / SVM 名、リストアボリューム名、ポリシー、リストア

Snapshot コピー名を選択し、* リストアタイプ * ドロップダウンリストから * ボリュームリストア * を選択します。



b. 概要を確認し、[完了]をクリックします。

リストア対象のアイテムがほかにもあるかどうかを確認する警告メッセージが表示されます。

5. [いいえ]をクリックし、[リストアの確認]ページで[OK]をクリックします。

6. [*Console] ペインで、メッセージを表示してリストアが正常に完了したことを確認します。

単一ファイルのリストア処理を実行しています

Snap Creator の GUI を使用して、単一ファイルのリストア処理を実行できます。

1. Snap Creator の GUI のメインメニューで、* Management * > * Configurations * を選択します。

2. [プロファイルと構成] ペインの [構成] タブで、構成ファイルを選択します。

3. [*アクション* > *復元* (Action * > * Restore *)] を選択

右側のペインにリストアウィザードが開きます。

4. リストアウィザードを完了します。

- a. 「リストアの詳細」セクションで、コントローラまたは SVM 名、リストアボリューム名、ポリシー、リストア Snapshot コピー名を選択し、リストアタイプのリストから「* Single File Restore *」を選択します。

Restore details.
Enter Controller/Vserver name, Volume Name, Policy, Snapshot copy name and Restore type.

Controller/Vserver name:

Restore volume name:

Policy:

Snap Creator Snapshot Copies All Snapshot Copies

Restore Snapshot copy name:

Restore type:

Back Next Cancel

- b. リストアするファイルを選択します。
- c. ファイルのリストア先の場所を選択します。
- d. 概要を確認し、[完了]をクリックします。

リストア対象のアイテムがほかにもあるかどうかを確認する警告メッセージが表示されます。

5. リストアするアイテムがこれ以上ない場合は、[いいえ]をクリックし、[リストアの確認]ページで [OK] をクリックします。
6. コンソールペインで、表示されたメッセージを確認して、選択したファイルが正常に復元されたことを確認します。

アプリケーションで定義したリストア処理を実行しています

VMware、KVM、Xen のプラグインを使用している場合、Snap Creator の GUI を使用してアプリケーションで定義したリストア処理を実行できます。

特定の VMware 環境では、リストア処理に時間がかかることがあります。このような場合は、Snap Creator の CLI を使用するか、バックアップ用とリストア用の 2 つのエージェントをセットアップします。

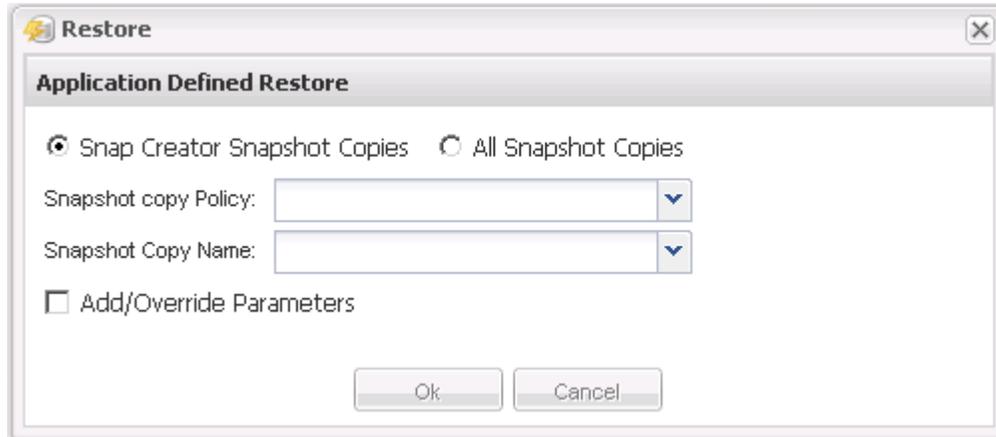


GUI を使用した VMware のリストア処理は、Snap Creator エージェントの場合にのみサポートされます。

1. Snap Creator の GUI メインメニューから、 * Management * > * Configurations * を選択します。
2. [* 構成 *] タブの [プロファイルと構成] ペインで、構成ファイルを選択します。
3. [* アクション * > * 復元 * (Action * > * Restore *)] を選択

右側のペインに [アプリケーション定義の復元] ダイアログボックスが表示されます。

4. リストアの詳細を入力し、「 * OK * 」をクリックします。



著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。